

京都フィロムジカ管弦楽団

第44回定期演奏会

ラマニノフ/ユース・シンフォニー

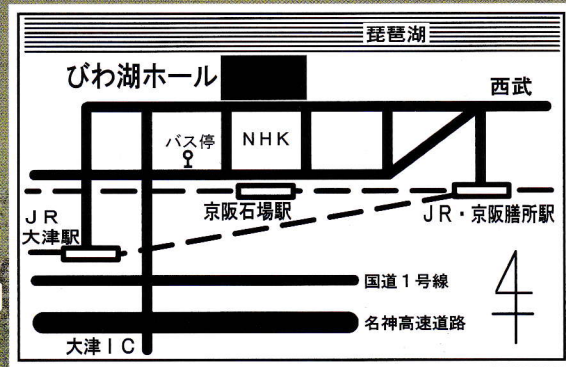
ブルックナー/交響曲第5番(原典版)

2018年12月23日(日) 午後1時開場 2時開演
1時15分よりロビーコンサートを開催



滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール
大ホール

京阪・石場駅より徒歩約3分
JR/京阪・膳所駅より徒歩約15分
JR大津駅よりバス、「商工会議所前」
バス停下車、徒歩約3分
名神高速・大津ICより約5分



<http://www.biwako-hall.or.jp/>

指揮：池田 俊

前売券：1,000円 (当日券：1,200円) 全自由席

【チケット取り扱い】

- びわ湖ホール2階チケットセンター
(窓口販売のみ10:00~19:00)
※火曜日休館(祝日の場合は翌日)
- 京都芸術センター(窓口販売のみ10:00~20:00)
- JEUGIA(三条本店3階、APEX管弦楽器)

【電話、WEBによるチケット予約先】

070-6506-4032

または

ticket@kyotophilo.com

ホームページ

<http://www.kyotophilo.com/contact.html>

・乳幼児等就学前のお子様のご同伴、
ご入場は固くお断りいたします。

・係員の指示に従って頂けない場合は
ご退場いただくことがあります。

京都芸術センター
制作支援事業



【後援】大津市、大津市教育委員会

京都フィロムジカ管弦楽団
ホームページ

<http://www.kyotophilo.com/>

京都フィロムジカ管弦楽団 第44回定期演奏会

今回のフィロムジカ定期では、ブルックナーの大作・交響曲第5番が満を持して演奏されます。19世紀の大作作曲家ブルックナーはオーストリアの農村で生まれ育ちました。そのため、なだらかな丘陵を思わせる広がり、村人が踊り騒ぐような力強いリズムが彼の音楽の魅力です。またブルックナーは、教会のオルガン奏者としても活躍した信仰心の篤い人でした。大聖堂の中で鳴り響くオルガンのように神々しい響きもまた、ブルックナーの魅力です。交響曲第5番はとりわけ、そうした壮麗さが際立った傑作です。80分を超える大曲の最後では、輝かしい響きに包まれて、比類のない幸福感が得られるに違いありません。

指揮はフィロムジカの常連指揮者である池田俊氏。名門・大阪フィルハーモニー交響楽団で首席奏者として活躍した、オーケストラの現場を知り尽くした名匠です。そして大阪フィルは、スケールの大きなブルックナーの演奏で世界的に高く評価された巨匠・朝比奈隆が築き上げたオーケストラです。豪快な朝比奈サウンドを奏者として支えた池田氏が指揮する交響曲第5番は、故・朝比奈隆の偉大な芸術を継承する、雄大で生命力にあふれたブルックナーになるに違いありません。

また前半では、ロシアの大作作曲家・ラフマニノフが青年時代に書いた意欲作『ユース・シンフォニー』が演奏されるのも注目です。東ヨーロッパの音楽でも共演を重ねてきた池田氏とフィロムジカが、この知られざる逸品の魅力を存分に伝えてくれるに違いありません。

指揮 池田 俊 (いけだ しゅん)

兵庫県西宮市生まれ。大阪音楽大学、デトモルト国立音楽大学(ドイツ)でトランペットと指揮法を研鑽。大阪フィルハーモニー交響楽団で首席トランペット奏者を1995年まで務める一方、大阪シュベルマー金管アンサンブルのコンサートにおいてはトランペットと指揮を兼ねた。1998年、関西フィルハーモニー管弦楽団との指揮者デビュー・コンサートでは、“豊かな音楽性を持つ才能ある指揮者!”と絶賛された。以後、大阪交響楽団、広島交響楽団、奈良フィルハーモニー管弦楽団、エウフォニカ管弦楽団などを指揮。

また、1997年のプリズベン国際ブラス・フェスティバルにおいて指導やコンクール審査を務めたほか、2004年にブルガリア国立ソフィア・フィルを指揮してディプロマを授与される、2009年にウクライナ国立交響楽団を指揮してスタンディングオベーションを受けるなど、海外でも活躍している。

その一方で、多数のアマチュアのオーケストラや吹奏楽団をも指揮し、その演奏力の向上に力を注いでおり、“下町の名指揮者”として評価を受けている。日本指揮者協会会員、高知大学交響楽団名誉指揮者、香芝シティ室内オーケストラ専任指揮者、JAPANアカデミー・トランペットアンサンブル指揮者・音楽監督、元・奈良教育大学非常勤講師。

管弦楽 京都フィロムジカ管弦楽団

1996年創立。知名度の低い傑作に光を当てる斬新な選曲を身上としており、日本初演・関西初演も多く手がける。遠く北海道や九州からも聴衆が駆けつけるなど、その姿勢は全国的に注目されている。また、若々しい熱気を前面に出した激しい演奏に定評がある。年2回の定期演奏会のほか、依頼を受けての演奏会も精力的にこなす。特定の母体を持たない珍しいアマチュアオーケストラで、団員の本業や出身地は様々であり、関東や東海など遠方在住の参加者もいる。学生オーケストラの経験のない人や大人になってから楽器を始めた人など楽器歴も様々に異なる奏者たちが集って音楽を作り上げている。団名の「フィロムジカ」は、「音楽を愛する」という意味の造語である。

新 入 団 員 大 募 集 中

私たちと一緒に演奏しませんか?お気軽に練習にお越しください。団員一同お待ちしております!
遠方からの参加も歓迎します。関西地区以外の方々もご興味があればぜひご連絡ください!

●募集パート ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス (ヴァイオリン・ヴィオラ急募!!)
オーボエ・ファゴット (ファゴット急募!!)

ホルン・トランペット / 打楽器(打楽器は諸条件について要相談)

(参加資格) 特にありませんが練習に出席できること。学生の参加も歓迎します。

(練習日時) 原則日曜日(午後1~5時)、春と秋に合宿練習(大津市内)

(練習場所) 京都芸術センター、伏見区など京都市内の各所のほか、大津市など。

(諸費用) 団費3000円/月(学生は1000円)、演奏会参加費など

※遠距離割引、学生割引、家族割引などあり(ご相談ください)

Webサイト(<http://www.kyotophilos.com/>)では、過去の演奏曲も紹介しております。是非一度ご覧ください。

入団・見学に関するお問い合わせ先 E-mail: recruit@kyotophilos.com